

日本国際情報学会  
国際開発研究部会2019年度第1回研究報告会 報告書

国際開発研究部会2019年度第1回研究報告会が下記の日程通り、日本大学経済学部水道橋校舎にて開催されました。

記

1 部会目的

国際開発課題を経済開発と社会開発の両面から捉えて、ミレニアム開発目標(MDGs)や持続可能な開発目標(SDGs)を含む国際開発枠組み及び人間の安全保障・人権・社会開発のような開発理念をアプローチし、そして貿易と開発、技術移転・技術開発の促進、産業集積と地域経済発展、貿易障壁の削減の諸課題を経済学的な視点から理論・実証・政策の側面から研究する。

2 開催日時

2019年7月13日(土) 14時00分～18時00分

3 開催会場

日本大学経済学部7号館7062教室

4 研究報告会〔各報告25分、質疑応答15分〕 (敬称略)

司会者：陸亦群(国際開発研究部会長、日本大学経済学部教授)



第1報告(14:05~14:45)

報告者：出雲晃(日本大学大学院総合社会情報研究科)

テーマ「高レベル放射性廃棄物処分プロセスにおける社会的合意形成—手続き的公正と分配的公正の視点—」



高レベル放射性廃棄物処分プロセスを進めるに当たっては市民の理解と参加を確保する社会的合意形成モデルが必要と定義。それを踏まえ利他主義による協調行動、手続き的公正、分配的公正の3要素から社会的合意形成を得るためのアプローチを検証しました。

第2報告：（14：50～15：30）

報告者：齋藤高志（日本国際情報学会員）

テーマ「今後の地域経済での稼ぎ方に関する一考察」



地域経済循環モデルから域外市場部門の活性化が必要と指摘。日本経済で大きな経済活動を行う東京で情報通信業が伸びている事例から業界の動向、更に製造業のサービス化の事例から地域産業活性化について検証しました。

第3報告：（15：45～16：30）

報告者：田中隆（日本大学大学院総合社会情報研究科）

テーマ「人口移動の経済的要因に関する実証的分析—都市化の経済と人口移動—」



人口移動論を踏まえ、ベトナムの経済規模や人口移動を検証。パネルデータ分析によってベトナムと日本の人口移動について比較分析を行い、ベトナムにおいて都市化の経済が働いていないことを指摘。そこからベトナム経済の課題を提示しました。

第4報告：（16：30～17：15）

報告者：羽生勇作（日本大学大学院総合社会情報研究科）

テーマ「コソヴォ紛争における難民問題と安全保障の重層的交錯」



旧ユーゴスラビア連邦諸国に位置するコソボ地域について、地域の歴史的経緯を踏まえ、近年の難民問題の状況を報告した。その結果難民問題は、安全保障と相互に複雑かつ重層的に交錯しているため、国際政治で容易ならざる課題を提起しているとしました。

第5報告（17：15～17：45）

報告者：島田久美子（常葉大学 公務員試験対策センター長）

テーマ「科学者・科学技術者の雇用・労働政策と科学情報過程論」



最近の政治状況の分析を行うとともに、理系の高度人材の活用について、報告者が作成した社会システムモデルから検証しました。

5 参加者

11名

6 部会終了後

駅前中華にて懇親会を行いました。中華料理と紹興酒を肴に、部会時間では足りなかった質疑応答を熱く行いました。本部会活動に興味のある方は、次回以降ぜひご参加ください。どなたでも参加は可能です。



部会聴講風景



部会終了後、記念写真。（途中退席者1名おりました。）